

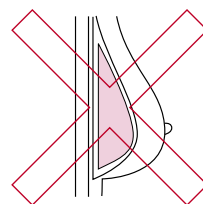
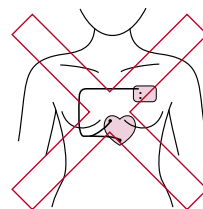
Information**乳房X線撮影(マンモグラフィ)
検査不適応者について**

臨床部長 前田 亮

マンモグラフィ検査は、乳房全体を圧迫板で8～15kgの強さで圧迫して撮影しますので、ペースメーカーを装着している方や、乳房に人工物が入っている方は検査不適とし、原則お断りしています。

マンモグラフィ検査不適応の理由

1. 乳腺を引き出したり、広げたりというポジショニングの過程で、ペースメーカーやリード線の位置がずれたり、圧迫することによりペースメーカー本体に大きな圧力がかかり破損する恐れがあります。
2. シリコン注入、シリコンバック等のインプラント挿入により病変がうまく描出できないことや、バックの破損、あるいは当初入れた部位とは大きくずれて移動することもあります。



なお、マンモグラフィを受けられずに心配な方には、超音波検査を推奨していただき、専門の医療機関の受診をお勧めください。

(参考)

マンモグラフィ検査の不適応についての詳細な情報は、以下のサイトに記載されていますのでご参照ください。

豊胸術実施者のマンモグラフィ検査に係る見解: <http://www.mammography.jp/mammo/oshirase16.html>

ペースメーカー装着者のマンモグラフィ検査に係る見解: <http://www.mammography.jp/mammo/oshirase17.html>

(特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会ホームページ)

お問合せ先 広島原対協健康管理・増進センター ☎082-243-2451(代表) 8:30～17:00